

**議題 1**

報道機関 各位

記者発表資料

平成28年3月29日(火)

問い合わせ先:

指導1課 担当: 日比・中野

電話: 829-1659

～全国初～ 子どもたちの意欲を高め、学力を付ける「よい授業」を展開します！

平成27年4月から、東京大学・市川研究室の御協力を得て、統計的な手法を用いて「よい授業」についての分析を開始し、平成27年11月には「子どもたちが望む『よい授業』4つの因子」を抽出することができました。

その後、さらに調査・分析を進めた結果、4つの因子と学力との間に一定の関係があることが分かりました。

平成28年度からは、これらの研究成果を活用し、教員の授業改善を図るとともに、本市の児童生徒の更なる確かな学力の向上をめざしてまいります。

記

1 「よい授業」4つの因子と学力との関係 【配布資料1】**2 研究成果の活用方法****(1) 授業づくり … 「新・さいたま市の授業づくり」(冊子)の活用**

○「新・さいたま市の授業づくり」…「よい授業」の4因子を視点とした授業実践例等を具体的に示した冊子

教員は、授業の準備をする際、冊子に基づき4因子を生かした授業になるよう計画を立て、授業を実施する。

教育委員会は、指導主事等による定期的な学校への訪問、各研修会での指導等、様々な場面で冊子を活用し、4因子を生かした授業改善を図る。

(2) 授業の振り返り … 『よい授業』集計システム』の活用

○『よい授業』集計システム』…「よい授業」の4因子を生かした授業ができているかを教員自身が分析できるシステム

教員は、児童生徒に対しアンケートを取り、その結果を集計・分析することで、自分の授業を客観的に把握し、授業改善を図る。

3 今後の取組予定

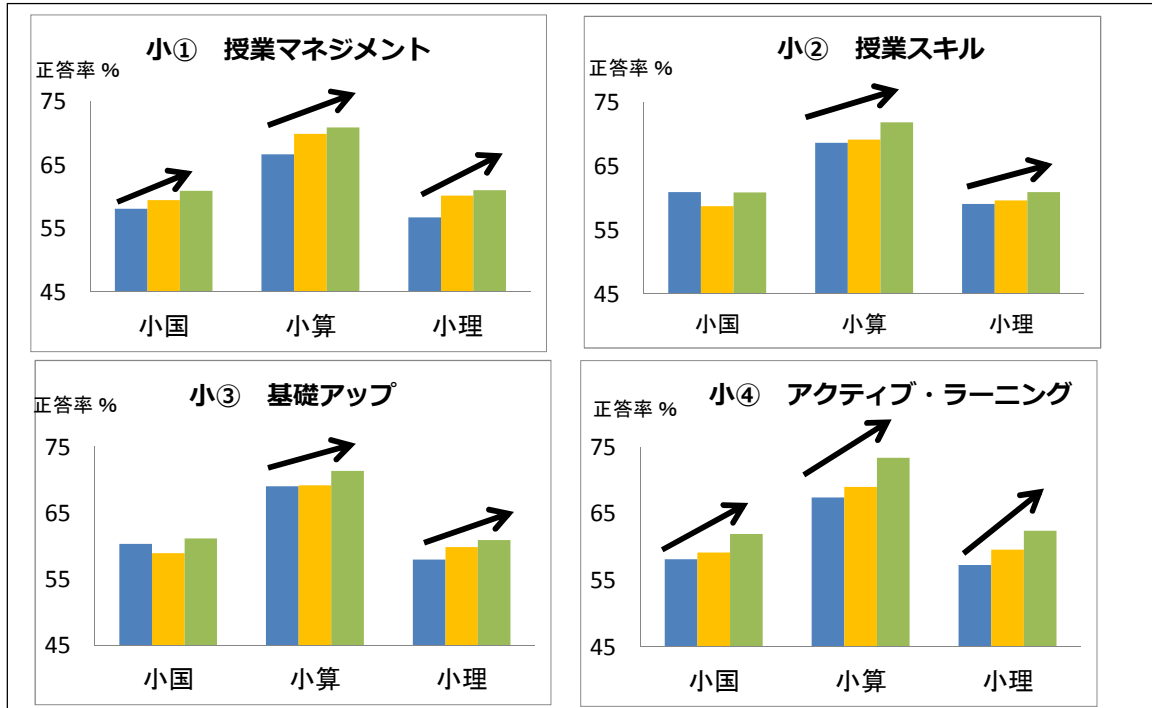
平成28年度は、「よい授業」の4因子と国語、算数・数学、理科以外の教科の学力との関係、4因子と興味・関心・意欲との関係、小学校1年生から4年生までの活用等について、研究協力校と連携し、現場の教員の声を聞きながら、さらに研究を進めていく。

その後、全ての学年・教科の教員が『よい授業』集計システム』を活用して自分の授業を振り返り、授業改善を図れるようにしていく。

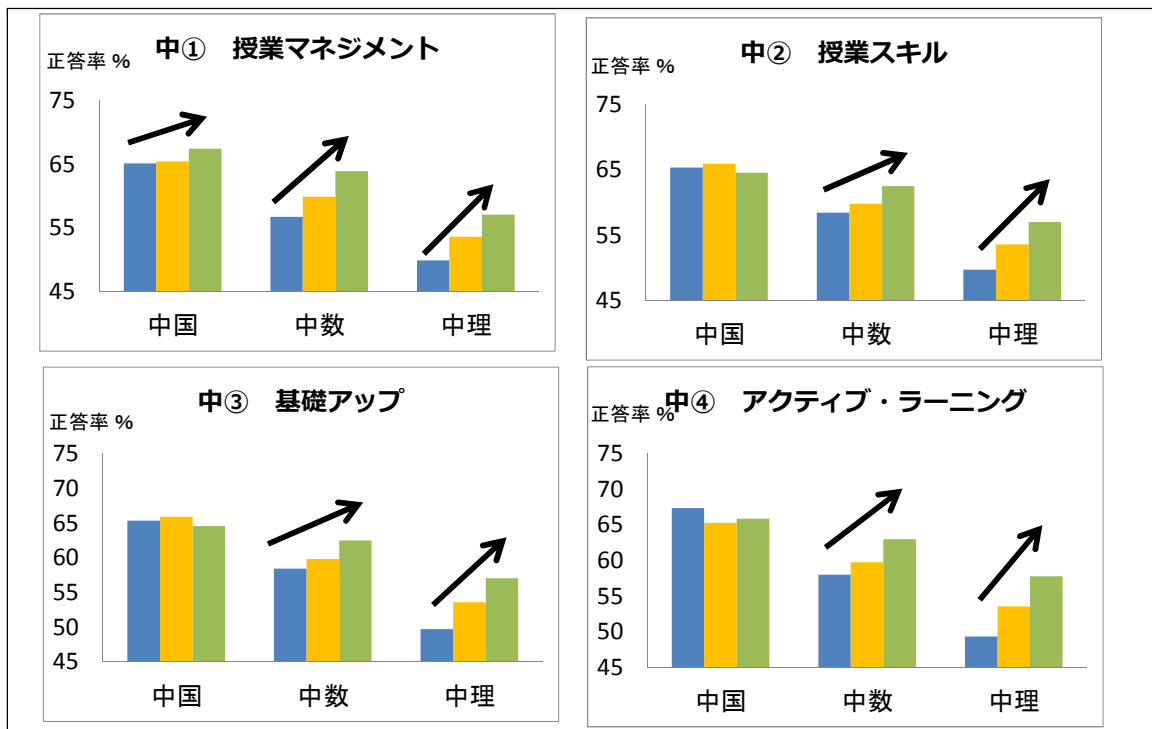
「よい授業」4つの因子と学力との関係

- 縦軸は、学力調査の正答率を示しています。
- 棒グラフは、各教科とも左から、因子の尺度得点(因子を形成する質問項目の合計得点)が低い ■、中くらい ■、高い ■ の順で並んでいます。
- 3本のグラフの関係が右上がりになっているものは、因子の尺度得点が高い層の児童生徒ほど、学力が高いということを示しています。つまり、その因子と学力との間に一定の関係があるということを示し
- 右肩上がりの傾きが大きいほど、その傾向が大きいことを示しています。

小学5～6年生 (国語・算数・理科)



中学1～2年生 (国語・数学・理科)



調査研究で分かったこと

- 小・中学校いずれにも、因子が高得点なほど、教科の正答率も高い傾向があります。
- 教科別に見ると、中学校数学と理科は、どの因子においてもその傾向がより大きいと言えます。
- 因子別に見ると、「授業マネジメント」と「アクティブ・ラーニング」は、その傾向がより大きいと言えます。

議題1

～全国初～

子どもたちの意欲を高め、
学力を付ける「よい授業」を展開します！

さいたま市教育委員会

全国初

子どもたちの意欲を高め、学力を付ける

よい

授業



を展開します！

平成28年3月29日
指導1課

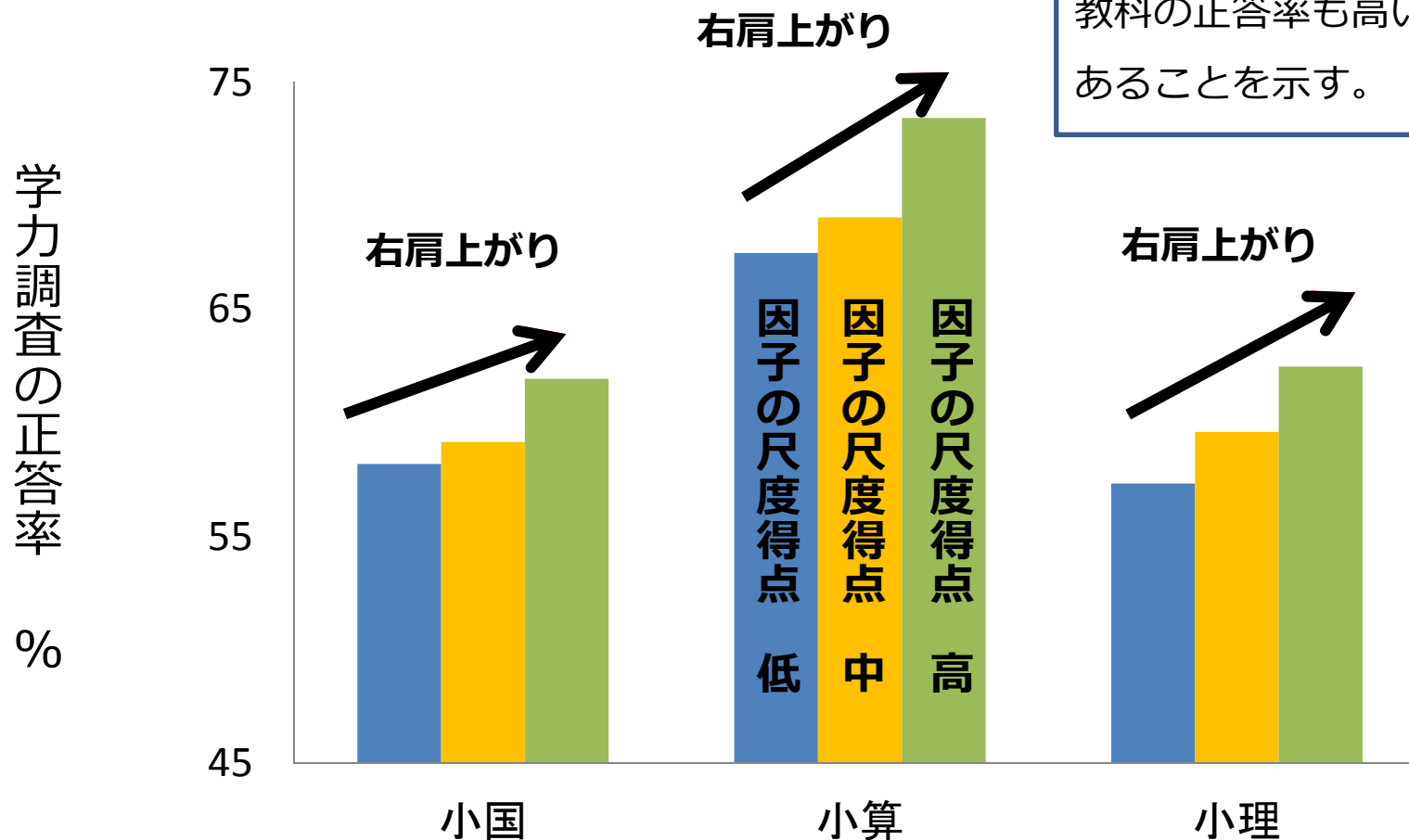
1 「よい授業」 4つの因子と学力の関係

グラフの見方

小学5～6年生

小④ アクティブ・ラーニング の場合

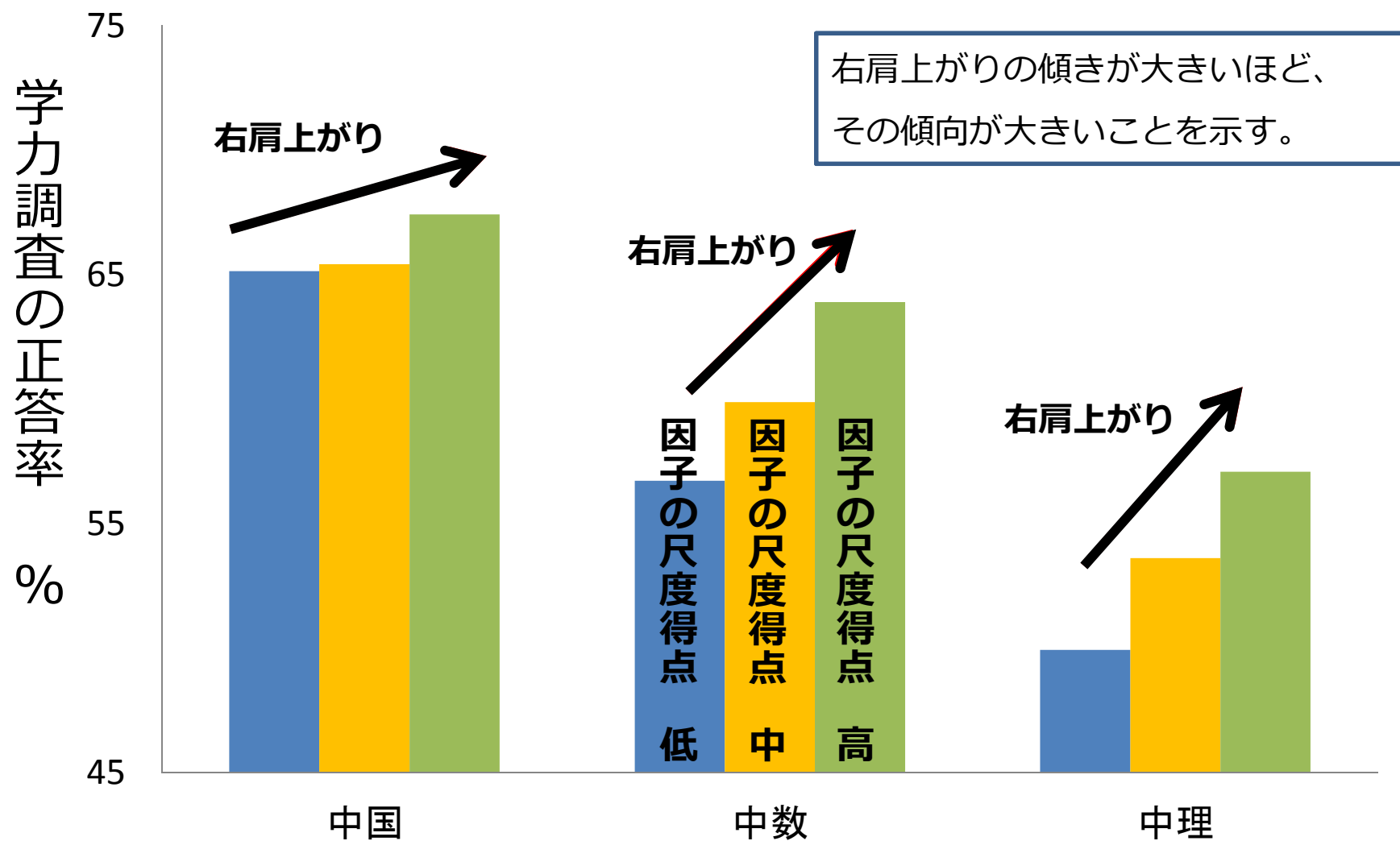
グラフが右肩上がりである
ということは、因子の尺度
得点が高い層の児童ほど、
教科の正答率も高い傾向が
あることを示す。



グラフの見方

中学1～2年生

中① 授業マネジメントの場合



調査研究で分かったこと

- 小・中学校いずれにも、**因子が高得点なほど、教科の正答率も高い**傾向がある。
- 教科別に見ると、**中学校の数学と理科**は、どの因子においてもその傾向がより大きい。
- 因子別にみると、「**授業マネジメント**」と「**アクティブ・ラーニング**」は、その傾向がより大きい。

配布資料 1 を参照ください

(1) 授業づくり

「新・さいたま市の授業づくり」
(冊子) の活用

- ①第2学年における乗法九九及び前時までの何十(何百)×1けたの計算の定着
 ②被乗数が前時の何十から何十何に変わったということに気付かせ、確実に押さえる課題設定
 ③被乗数を位ごとに分けて計算するよさに気付かせる練り上げ

学習活動・内容

1 問題を知る

T: 今日の問題です。

1枚23円の画用紙を3枚買います。代金はいくらでしょう。

C: 式は 23×3

T: どうしてかけ算になるのかな。

C: 23円のを3つ買うから。

C: 同じものが3つある。テープ図をかくとわかるよ。

2 課題を設定する

冊子 (イメージ)

4因子を視点とした授業づくりのポイント

<問題提示> 因子③ (機器の活用、生活との関連)

- 前時の復習、生活の話題、ICT機器の活用等により、問題への興味・関心を高める。
- 時間をかけすぎてしまうと、自力解決の時間等を確保できないことがあるので注意する。

<課題設定> 因子④ (主体的な学習)

- 式につながる数値の確認、立式とその根拠(図も立式の根拠になり得る)、今までの問題との違いなどを考えさせながら、児童の力で設定

「よい授業」4つの因子を生かした授業実践例等を具体的に示した冊子

教育委員会の指導主事等による指導・助言により、4因子に基づく授業改善を図ります。



授業の準備をする際に、この冊子を参考にして、4因子を生かした授業になるよう、計画しよう！

全ての市立小・中・特別支援学校の全教員が活用します

(2) 授業の振り返り

「『よい授業』集計システム の活用

アンケート調査シート（イメージ）

授業に関するアンケート

〔 〕学校 〔 〕年 〔 〕組 〔 〕番

性別 男 女 〔 1 ・ 2 〕
どちらかに○を付ける

現在受けている（算数）の授業をふり返り、下の25項目に教えてください。「4：そういう授業が多い」「3：どちらかといえば多い」「2：どちらかといえば少ない」「1：そういう授業は少ない」のうちから1つだけ選んで、右側の番号に○を付けてください。学校の成績とは関係ありません。事実をありのままに教えてください。

	4	3	2	1
例) 先生がたくさんほめてくれる	4	③	2	1
1 先生の声がはっきりしていて聞き取りやすい	4	3	2	1
2 授業中に練習問題を行うなど、基本的な内容に何度も繰り返し取り組む時間がある	4	3	2	1
3 先生がパソコンやテレビなどを活用して教えてくれる	4	3	2	1
4 今日の学習のまとめを、自分たちで考える	4	3	2	1
5 先生が間違いやすいポイントなどを教えてくれる	4	3	2	1
6 カラダのみんなが、話すときは話す、聞くときは聞くなど、はじめから役割とつづはらわれている	4	3	2	1

(2) 授業の振り返り

「『よい授業』集計システム の活用

■結果のまとめ（因子ごとの回答傾向）

項目と因子について

結果シート（イメージ）

因子		項目No.	本クラス平均	目標値	差
[1]	授業マネジメント	1, 6, 11, 16, 21	16.1	14.0	2.1
[2]	基礎アップ	2, 7, 12, 17, 22	11.8	13.1	-1.3
[3]	授業スキル	3, 8, 13, 18, 23	13.6	14.2	-0.6
[4]	アクティブ・ラーニング	4, 9, 14, 19, 24	16.7	15.0	1.7

※ 差が±0.5以内であれば、目標値とほぼ同じ傾向とみなされます。

■全体結果の見方と傾向

目標値と比較して、「授業マネジメント」「アクティブ・ラーニング」の得点が高くなっています。

「授業マネジメント」には、左表のように、授業規律にかかわる項目など、よい授業を実現するため

子どもたちからアンケートをとって、その結果をシステムに入力することで、「よい授業」の4因子が生かされた授業ができているかを自己分析できるシステムなんだね。

分析結果から自分の授業の改善点を見つけて、「新・さいたま市の授業づくり」を参考に、よりよい授業づくりをしていこう！



**全ての市立小・中・特別支援学校の全教員の
校務用コンピュータへ、システムを配信します**

平成28年度は、

- ・4因子と3教科以外の教科の学力との関係
- ・4因子と興味・関心・意欲との関係
- ・小学校1年生から4年生までの活用 等

について、研究協力校と連携し、現場の教員の声を聞きながら、さらに研究を進めていく。

その後、全ての学年・教科の教員が「『よい授業』集計システム」を活用して自分の授業を振り返り、授業改善を図れるようにしていく。

本市の児童生徒の**更なる確かな学力の向上**
をめざしてまいります

